

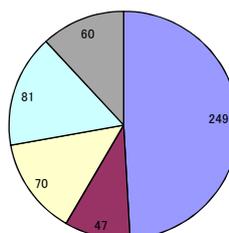
景気動向

業況はわずかに悪化。
先行きは製造業で横ばい、非製造業でわずかに改善の見通し。

- 調査時点 平成26年7月調査(26年6月末時点)
- 対象企業 800社
- 回答企業 507社(回答率:63.4%)
(製造業249社、建設業47社、卸売業70社、小売業81社、サービス業60社)
- 調査時期 四半期毎(3、6、9、12月末時点)

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	249
建設業	47
卸売業	70
小売業	81
サービス業	60



- 製造業
- 建設業
- 卸売業
- 小売業
- サービス業

<全産業>

全産業の業況DI(▲12.8)は、前回(5.9)に比べ-18.7ポイントと悪化を示した。業種別では製造業の業況DI(▲4.0)は、前回(12.0)に比べ-16.0ポイントと悪化を示した。建設業の業況DI(2.1)は、前回(6.4)に比べ-4.3ポイントと悪化を示した。卸売業の業況DI(▲30.0)は前回(▲2.6)に比べ-27.4ポイントと悪化を示した。小売業の業況DI(▲29.6)は前回(7.2)に比べ-36.8ポイントと悪化を示した。サービス業の業況DI(▲18.3)は前回(▲7.9)に比べ-10.4ポイントと悪化を示した。

【3か月先見通し】

〈業況〉今回=平成26年6月末

全産業では今回(▲12.8)から3か月先(▲8.9)と3.9ポイントの改善を見通している。製造業では今回(▲4.0)から3か月先(▲4.8)と-0.8ポイントの悪化を見通している。建設業では今回(2.1)から3か月先(8.5)と6.4ポイントの改善を見通している。卸売業では今回(▲30.0)から3か月先(▲17.1)と12.9ポイントの改善を見通している。小売業では今回(▲29.6)から3か月先(▲17.3)と12.3ポイントの改善を見通している。サービス業では今回(▲18.3)から3か月先(▲18.4)とほぼ横ばいを見通している。

■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
6月末時点	-12.8	-12.2	-22.5	-4.5
3月末時点	5.9	5.4	-10.5	1.2
前回比	-18.7	-17.6	-12.0	-5.7

■全産業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	18.2	28.2
悪化	31.0	22.3
DI値	-12.8	5.9
前回比	-18.7	-1.3

■6月末時点からみた全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	14.0
悪化	22.9
DI値	-8.9

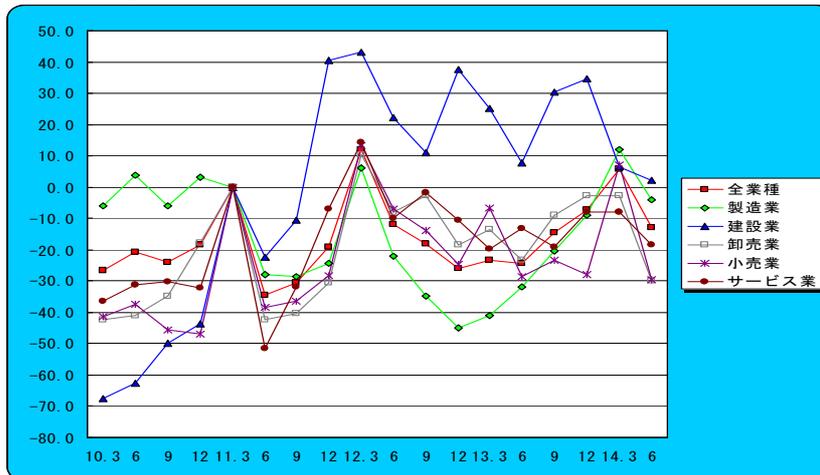
■製造業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	24.9	33.9
悪化	28.9	21.9
DI値	-4.0	12.0
前回比	-16.0	11.6

■非製造業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	11.6	23.3
悪化	33.0	22.6
DI値	-21.4	0.7
前回比	-22.1	6.3

■業種別業況DI値推移グラフ



<製造業>

業況DI値	
今回	-4.0
先行き	-4.8
前回比	-16.0

対象企業	377
回答企業	249

資金繰りで横ばい、業況・売上・採算でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・わずかに改善・・・「食料品」、「縫製」、「輸送用機器」、「プラスチック」
- ・横ばい・・・「一般機械」
- ・わずかに悪化・・・「織物」、「木材・木製品」、「精密機器」
- ・悪化・・・「酒造」、「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「電気機器」
- ・大幅悪化・・・「ニット」、「印刷」、「窯業・土石」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「木材・木製品」、「金属」
- ・横ばい・・・「食料品」、「ニット」、「縫製」、「鉄鋼・非鉄」、「一般機械」、「プラスチック」
- ・わずかに悪化・・・「酒造」、「織物」、「印刷」、「電気機器」、「輸送用機器」、「精密機器」
- ・悪化・・・「窯業・土石」

【3か月先見通し】

業況・売上・採算・資金繰り全てで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善・・・「ニット」、「印刷」、「窯業・土石」、「金属」
- ・わずかに改善・・・「食料品」、「鉄鋼・非鉄」
- ・横ばい・・・「酒造」、「織物」、「木材・木製品」、「精密機器」
- ・わずかに悪化・・・「縫製」、「電気機器」
- ・悪化・・・「一般機械」、「輸送用機器」、「プラスチック」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・「縫製」、「印刷」
- ・わずかに改善・・・「食料品」、「酒造」
- ・横ばい・・・「織物」、「ニット」、「窯業・土石」、「金属」、「精密機器」
- ・わずかに悪化・・・「鉄鋼・非鉄」、「電気機器」、「輸送用機器」、「プラスチック」
- ・悪化・・・「木材・木製品」、「一般機械」

「原発事故により、大きく落ち込んだ売上は回復していない。風評被害が依然として続いており、厳しい状況が続いている」例年4月、5月の売上は減少するが、消費税増税により、減少幅が大き過ぎるものがある。7月以降は回復の見込み。「原料高と重油高で採算が悪化している。価格にも転嫁できず、厳しい状態です。」との声があった。

自由意見

- 製造業
- 7・8月は人手不足の予想。【食料品】
 - 原発事故により、大きく落ち込んだ売上は回復していない。風評被害が依然として続いており、厳しい状況が続いている。【食料品】
 - 仕入、資材単価の上昇があっても販売単価には上乗せできない。今後は、消費税増税による余波も考えられる。【食料品】
 - 原材料・電気料・運賃・包装資材等全てが値上げされているが、売価に転嫁できない。【食料品】
 - 消費税増税後の買い控えのためか、荷動きが鈍い。夏ギフトの売上への影響が不安である。【酒造】
 - 消費税が8%になり、消費が減っている。【酒造】
 - 市場で売れていないので注文が少ない。取引先メーカーも企画、発注に慎重になり例年より受注数が少ない。【縫製】
 - 先行き不透明。【木材・木製品】
 - 震災後、2～3割の減から回復しない。諸々の要因があり、今後の先行きは不透明。【印刷】
 - 昨年と比較すると受注が少ない。復興需要がなくなっている。【印刷】
 - 震災から3年が経過し、公共の発注状況も従来に戻りつつあり、5月、6月は減少の方向で、7月頃より動きが出そうです。【窯業・土石】
 - 製造業は、一般的に昨年より悪化している。8月以降、本場に景気が回復するのか疑問。【鉄鋼・非鉄】
 - 例年4月、5月の売上は減少するが、消費税増税により、減少幅が大き過ぎるものがある。7月以降は回復の見込み。【金属】
 - 業界の動きが漸く下流に出て来た感あり。【一般機械】
 - 漸く受注が回復し始めたが、継続的なコストダウンにより受注単価は厳しい。【一般機械】

○ 製造業は、関わる業界によって二極化が進み、油断できない状況です。	【一般機械】
○ 仕入単価、特に材料(プラスチック)の上昇が著しい。先行き不安な状況です。	【電気機器】
○ 先行き不透明。	【電気機器】
○ 仕事がない。	【電気機器】
○ 新規の引き合い案件が増えているが、先行きを考えると規模拡張や人員増強には躊躇している。	【電気機器】
○ 未だ顕著な変化は見られないが、昨今新たな製品の試作品の要求等が増えている感があり期待できる様相。	【電気機器】
○ 製造原価が上がり、採算性が心配です。	【精密機器】
○ 仕事量は増加しているが、納期が短い。	【精密機器】
○ 電力料金値上げによる影響で、収益確保に大きな打撃を受けております。	【精密機器】
○ 求人を出しても集まらない。	【プラスチック】
○ 原料高と重油高で採算が悪化している。価格にも転嫁できず、厳しい状態です。	【プラスチック】

<建設業>

業況DI値	
今回	2.1
先行き	8.5
前回比	-4.3

対象企業	67
回答企業	47

売上でわずかに改善、業況で横ばい、採算・資金繰りでわずかに悪化を示した。

- 〈業況〉
 ・わずかに改善・・・「土木」
 ・わずかに悪化・・・「建築」
- 〈売上〉
 ・「土木」、「建築」ともにわずかに改善を示した。
- 〈採算〉
 ・わずかに悪化・・・「建築」
 ・悪化・・・「土木」
- 〈資金繰り〉
 ・横ばい・・・「土木」
 ・わずかに悪化・・・「建築」
- 【3か月先見通し】
 業況でわずかに改善、採算・資金繰りで横ばい、売上でわずかに悪化を見通している。
- 〈業況〉
 ・わずかに改善・・・「建築」
 ・横ばい・・・「土木」
- 〈売上・資金繰り〉
 ・横ばい・・・「建築」
 ・わずかに悪化・・・「土木」
- 〈採算〉
 ・わずかに改善・・・「建築」
 ・わずかに悪化・・・「土木」

「受注はあるが、人員不足で仕事が進まない。」「人材・資材共に不足しております。」「直轄工事(国)に比べて県及び市町村発注工事件数が少ない。今後は増加傾向にあるが、一度に多くの工事が発注されると残った技術者では対応できなくなる。」「定年後、再雇用で従事していたベテラン社員が3月に引退したため受注が減少している。求人を出しても採用できず、資金繰りも切迫してきているが、7～9月に様々な販促活動を展開し、やや持ち直す見通し。」といった声があった。

自由意見

建設業

○ 受注はあるが、人員不足で仕事が進まない。	【土木】
○ 人材・資材共に不足しております。	【建築】
○ 直轄工事(国)に比べて県及び市町村発注工事件数が少ない。今後は増加傾向にあるが、一度に多くの工事が発注されると残った技術者では対応できなくなる。	【建築】
○ 定年後、再雇用で従事していたベテラン社員が3月に引退したため受注が減少している。求人を出しても採用できず、資金繰りも切迫してきているが、7～9月に様々な販促活動を展開し、やや持ち直す見通し。	【建築】

<卸売業>

業況DI値	
今回	-30.0
先行き	-17.1
前回比	-27.4

対象企業	114
回答企業	70

資金繰りで横ばい、売上・採算でわずかに悪化、業況で悪化を示した。

- 〈業況〉
 ・横ばい・・・「青果物」
 ・わずかに悪化・・・「衣服」、「飲食料」
 ・悪化・・・「機械器具」、「建築材料」、「その他」
 ・大幅悪化・・・「鮮魚」
- 〈売上〉
 ・横ばい・・・「衣服」、「青果物」
 ・わずかに悪化・・・「機械器具」、「その他」
 ・悪化・・・「飲食料」、「建築材料」
 ・大幅悪化・・・「鮮魚」
- 【3か月先見通し】
 業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを見通している。
- 〈業況〉
 ・改善・・・「飲食料」、「建築材料」
 ・わずかに改善・・・「その他」
 ・横ばい・・・「衣服」、「鮮魚」、「機械器具」
 ・わずかに悪化・・・「青果物」
- 〈売上〉
 ・改善・・・「飲食料」、「建築材料」
 ・わずかに改善・・・「機械器具」
 ・横ばい・・・「鮮魚」
 ・わずかに悪化・・・「衣服」、「青果物」、「その他」

「原発事故後、水産物の水揚げが激しく厳しい。早く操業を開始してほしい。」「仕入価格が上昇しても販売価格に反映しにくい。人件費、運送費の上昇により、一層厳しくなる。中小零細企業は業種問わず、大企業に押され、淘汰されるのではないか。」「若干の仕入単価の上昇はあるものの、販売単価の上昇があり、総じて好況を維持していくと考えます。」といった声があった。

自由意見

卸売業

- 会津地方の場合、大河ドラマ終了の反動で、景気の悪化が著しい。【飲食料】
- 原発事故後、水産物の水揚げが激しく、早く操業を開始してほしい。【鮮魚】
- 輸入材の値上げにより、内地材も値上がりしてきたが、漸く落ち着きを取り戻してきた。【建築材料】
- 若干の仕入単価の上昇はあるものの、販売単価の上昇があり、総じて好況を維持していくと考えます。【建築材料】
- 地方の小規模店は、軒並み疲弊しており、存続が危ぶまれる。【その他】
- 仕入価格が上昇しても販売価格に反映し難い。人件費、運送費の上昇により、一層厳しくなる。中小零細企業は業種問わず、大企業に押され、淘汰されるのではないかと懸念する。【その他】
- 求人を出しても集まらない。【その他】

<小売業>

業況DI値	
今回	-29.6
先行き	-17.3
前回は	-36.8

対象企業	138
回答企業	81

資金繰りでわずかに悪化、業況・売上・採算で悪化を示した。

〈採算〉

- ・大幅改善……「中小スーパー」、「大規模店」
- ・わずかに改善……「衣料」
- ・わずかに悪化……「飲食料」、「その他」
- ・大幅悪化……「家電品」、「自動車販売」、「家具・建具」

〈資金繰り〉

- ・改善……「中小スーパー」、「衣料」
- ・横ばい……「飲食料」、「大規模店」
- ・わずかに悪化……「その他」
- ・悪化……「家電品」、「自動車販売」
- ・大幅悪化……「家具・建具」

【3か月先見通し】

業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りでわずかに悪化を見通している。

〈採算〉

- ・改善……「自動車販売」
- ・わずかに改善……「中小スーパー」、「飲食料」、「その他」
- ・横ばい……「家電品」、「家具・建具」、「大規模店」
- ・わずかに悪化……「衣料」

〈資金繰り〉

- ・改善……「自動車販売」
- ・横ばい……「中小スーパー」、「大規模店」
- ・わずかに悪化……「飲食料」、「家電品」、「家具・建具」、「その他」
- ・悪化……「衣料」

「原発事故による風評被害が深刻化。消費税増税により、地方の商店街は冷え込んでいる。」「消費税増税後の売上低下が大きい。」「消費税増税に伴う駆け込み需要の反動は想定内であったが、消費マインドの回復が予想より遅く、また回復の見込みも不確定である。長引くと再び不景気になる可能性も考えられる。」といった声があった。

自由意見

小売業

- 原発事故による風評被害が進み、客足は止まったままです。【中小スーパー】
- 顧客の高齢化により、客数の減少に拍車がかかる見通し。【衣料】
- 原発事故による風評被害が深刻化。消費税増税により、地方の商店街は冷えこんでいる。【衣料】
- 食肉(豚肉)の急な高値で採算的に厳しい状態です。【飲食料】
- 4月以降メーカー問屋を含め、デフレスパイラルに拍車がかかっている。【飲食料】
- 個人の物販業は、現在のままではどんどん悪化していくと思う。【飲食料】
- 消費税増税後の売上低下が大きい。【飲食料】
- 消費税増税後は、ますますディスカウントストアに顧客が流れ、厳しい状況です。【飲食料】
- 消費税増税後、若干悪化の傾向にある。【家電品】
- 売上が大幅に悪化している。【家電品】
- 消費税増税による影響が大きく、景気の持ち直しに不安がある。【家電品】
- 消費税増税により、顧客の買い控えが続いている。【自動車販売】
- 消費税増税のダメージは大きい。【自動車販売】
- 消費税増税に伴う駆け込み需要の反動は想定内であったが、消費マインドの回復が予想より遅く、また回復の見込みも不確定である。【家具・建具】
- 長引くと再び不景気になる可能性も考えられる。【家具・建具】
- 消費税増税後の需要の回復が遅れている。【大規模店】
- 消費税増税に伴う駆け込み消費の反動減からの脱却が始まってほしい。【その他】

<サービス業>

業況DI値	
今回	-18.3
先行き	-18.4
前回は	-10.4

対象企業	104
回答企業	60

サービスで横ばい、業況・売上・資金繰りでわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・わずかに改善……「観光旅館」、「その他」
- ・わずかに悪化……「運送」、「自動車整備」
- ・悪化……「タクシー」、「情報サービス」

【3か月先見通し】

業況・売上・採算で横ばい、資金繰りでわずかに悪化を見通している。

〈業況〉

- ・わずかに改善……「観光旅館」
- ・横ばい……「タクシー」、「その他」
- ・わずかに悪化……「自動車整備」、「情報サービス」

「昨年は、大河ドラマの反響が大きかったが、今年は消費税増税の影響で悪化すると思われる。」「トラック運送事業における燃料費の上昇は深刻な問題となっている。加えて県内の労働力確保が難しく、人件費の上昇が避けられない。」「燃料費の高騰には大変苦労しております。イラク情勢が落ち着く事を願っております。」といった声があった。

自由意見

サービス業

- | | |
|---|----------|
| ○ 昨年は、大河ドラマの反響が大きかったが、今年は消費税増税の影響で悪化すると思われる。 | 【旅館・ホテル】 |
| ○ 消費税増税後、売上高の上昇は難しい。 | 【旅館・ホテル】 |
| ○ 一般タクシーは減少傾向にあるが、ジャンボタクシーによる貸切受注は増加している。 | 【タクシー】 |
| ○ 経済より気候の影響が多大な業界のため、現況は昨年並。 | 【タクシー】 |
| ○ 軽油高のため、ますます悪化している。 | 【運送】 |
| ○ トラック運送事業における燃料費の上昇は深刻な問題となっている。加えて県内の労働力確保が難しく、人件費の上昇が避けられない。 | 【運送】 |
| ○ 軽油の高騰が影響している。 | 【運送】 |
| ○ 燃料費の高騰には大変苦労しております。イラク情勢が落ち着く事を願っております。 | 【運送】 |
| ○ 燃料費等の値上がりが続く、苦しい状況です。 | 【運送】 |
| ○ 受注が増え、売上は上昇しているが、人件費の上昇、ガソリン・重油代の値上がり、客単価の下落が問題です。 | 【その他】 |